

# おもに1930年代から1960年代に川崎市及び周辺地域で 採集された昆虫類について

中山 周平・岩田 芳美\*<sup>1</sup>・苅部 治紀\*<sup>2</sup>・川田 一之\*<sup>3</sup>・脇 一郎\*<sup>1</sup>・鈴木 互\*<sup>3</sup>

Insects of northwestern Kawasaki and its adjacent area  
collected by Shuhei Nakayama

Shuhei Nakayama・Yoshimi Iwata\*<sup>1</sup>・Haruki Karube\*<sup>2</sup>  
Kazuyuki Kawada・Ichiro Waki\*<sup>1</sup>・Wataru Suzuki\*<sup>3</sup>

## I はじめに

川崎市域の昆虫に関しては、古くから登戸周辺などの有名採集地が存在したわりには報告は少ない。これまでに発表されたまとまったものとしては、丸山(1971)、川崎市自然環境調査報告 I (1987)、川崎市自然環境報告 II (1991)、川崎市自然環境報告 III (1994)、川崎市青少年科学館紀要第 10 号(1999)等がおもなところで、この他には、短報中に記録が散見される程度である。しかも、ほとんどの報文が 1970 年代以降のものであり、戦後すぐまでの自然環境が良好であった時代の市域の昆虫相を知る手がかりは、残されていないものと考えられていた。

ところが筆者の一人岩田は、市内の昆虫の記録をまとめる中で、中山(1998)「柿生 里山は今」に現川崎市麻生区で採集された 1930 年代の昆虫の記録が掲載されていることを知り、その後中山と連絡をとり、前記文献に挙げられたものの他にも多数の標本が現存することを確認した。これらは、川崎市内の 1930 年代から 1960 年代までを中心としたもので、採集データもはっきりしており、自然破壊の著しい川崎市北部の里山環境の本来の昆虫相を知るうえで非常に重要なコレクションといえる。

今回、筆者らの手で同定・整理できた標本について報告を行うが、中山のコレクションはかなり膨大な量があるため、今回の報告では、同定の容易な分野に限定し、なおかつ川崎市内及び隣接地域の記録のみを取り上げることにした。その他の標本類については、後日報告したいと考えている。

## II 記録の作成

今回の報告に使用したデータは、著者らが同定確認したものを岩田が取りまとめて種リストを作成し、それに中山が当時の採集状況などを記載し、各著者がコメントをつける形ですすめ、最終的な編集を苅部が行った。分担は以下のとおりである。標本整理・全体のコメント：中山、連絡調整・リスト作り：岩田、蝶類：脇、コメツキムシ科：鈴木、カミキリムシ科・ゴミムシダマシ科など甲虫類：川田、トンボ科・オサムシ科・水生昆虫類・編集：苅部。なお、オサムシ科の大部分の種の同定は東京都立高尾自然科学博物館の松本慶一氏にお願いした。

同定作業は中山の自宅において、実体顕微鏡及びルーペ等を使い同定できる範囲のものを記録した。従って甲虫目においては微小種などで若干の未同定種がある。

## III 謝辞

報告にあたり、多忙の中ゴミムシ類の同定をして頂いた東京都立高尾自然科学博物館の松本慶一氏、いろいろとご助言・ご助力頂いた神奈川県立生命の星・地球博物館の高桑正敏博士と川崎市青少年科学館の柏崎哲宏氏に感謝する。また、中山と岩田が連絡をとるきっかけになった「柿生 里山は今」のことを知らせて頂いたかわさき自然調査団佐野悦子氏にお礼を申し上げたい。

## IV 当時の柿生と採集の状況

今回報告する採集品のおもな採集地である神奈川県都筑郡柿生村(現川崎市麻生区の一部)は多摩丘陵の一部で、最高でも 100m 足らずの丘陵と低地からなりたっている。丘陵は雑木林と畑、低地は水田と鶴見川の上流にあたる流れであり、谷戸部は丘陵の間に樹枝状に入りこんでいて、先端部から湧水の見られることが多かった。このあたりは 1960 年頃までは水田、畑、雑木林のいわゆる里山環境の原風景がみられた。採集は 1933 年頃、1939 年前後、そして 1955 年頃の 3 回に集中して行った。

生家が柿生の片平であったため、標本の多くはその周辺で採集したものである。休暇に東京から生家に帰り、そのおりに家の周りで採集したものがほとんどなので、年間を通した地域の昆虫リストにはほど遠く、ごく普通の種類でも柿生では採っていない種も多い。現在と比べると当時は種類も個体数もずっと多かったように思われる。(中山)

## V 凡例

目録の中で括弧内に記された文章は中山のコメントである。和名、学名、及び種の配列は原則として各同定者に任せた。特に指定のない甲虫に関してはおおむね平野(1998)に従っている。また、目、科ごとに種数を括弧内に記している。なお、採集品のほとんどの産地である現在の川崎市麻生区柿生(片平)のものは、産地データを

\* 1 かわさき自然調査団 \* 2 神奈川県立生命の星・地球博物館 \* 3 日本鞘翅学会

省略し、その他の採集地（下記）についてだけデータを記した。採集地の現在の行政区分は以下のとおり。  
多摩川稲田・生田・西生田・多摩川登戸：川崎市多摩区  
溝の口・津田山：川崎市高津区  
黒川：川崎市麻生区  
多摩川下野毛・等々力：川崎市中原区  
二子多摩川：東京都世田谷区

和泉多摩川：東京都狛江市

なお、これらの標本の中にはすでに中山(1998)で標本写真とともに発表されているものも含まれているが、全ての採集データが示されているわけではない（例えば同データのもものが3頭あっても、その中の1頭だけ示されているなど）ため、改めて全データを記載するようにした。

## トンボ目 Odonata (19)

### イトトンボ科 Coenagrionidae (2)

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys

1♂, VI. 1955.

湿地や水田に見られる種だが、市内の記録は黒川・早野など数ヶ所に過ぎない。

アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* (Brauer)

1♀, 7. VIII. 1933; 1♀, VI. 1955; 1♀, VI. 1958.

### カワトンボ科 Calopterygidae (2)

ヒガシカワトンボ *Mnais pruinosa costalis* Selys

1♂, 26. IV. 1933; 1♂1♀, 25. IV. 1942; 1♂, IV. 1955.

一般には丘陵地に普通に見られる種であるが、川崎市市内での分布は偶産と考えられる生田緑地の記録を除くと、これまで黒川のみであった。少なくとも分布域が柿生周辺まで及んでいたことを知る貴重な記録である。

ハグロトンボ *Calopteryx atrata* Selys

1♂, 15. VIII. 1958; 1♂, 年月日不明.

現在、市内では多摩川に見られるだけで、かつて普通に見られたという用水路や小河川などからは絶滅している。

### サナエトンボ科 Gomphidae (2)

ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops* (Selys)

1♂, 5. V. 1955.

丘陵地の用水路などに見られる。現在市内では黒川・生田緑地に残るのみである。

コサナエ *Trigomphus melampus* (Selys)

2♂, 30. IV. 1942; 1♀, 23. V. 1942.

市内ではこれまで黒川における2例の記録が残されているだけであった。当時は広く分布していたものと考えられる。

### オニヤンマ科 Cordulegastridae (1)

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys)

1♂, 11. VII. 1942.

### ヤンマ科 Aeschnidae (2)

コシボソヤンマ *Boyeria maclachlani* (Selys)

1♂, VIII. 1955.

流れのゆるい小川や用水路に見られる。市内では黒川からのみ知られていた。やはり当時は広く分布していたのであろう。

カトリヤンマ *Gynacantha japonica* Bartenef

1♀, 15. VIII. 1941; 1♂ (採集年月日不明).

(夕方家の軒先をつつくようにして飛ぶ。)

かつては水田に極めて多数見られた種類である。現在は黒川などでわずかに生息しているに過ぎない。

エゾトンボ科 Corduliidae (2)

コヤマトンボ *Macromia amphigena amphigena* Selys

1♂, 12. V. 1940.

おもに中小河川中流に見られる種であるが、現在市内では多摩川で幼虫が確認されているだけである。

オオヤマトンボ *Epopthalmia elegans* (Brauer)

1♀, 11. VII. 1942.

池沼に見られる種だが、市内ではそのような環境が少ないため、記録も少ない。

トンボ科 Libellulidae (8)

シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* (Uhler)

1♂, 28. VIII. 1941; 1♀, 30. IV. 1942; 1♂, 23. V. 1942; 2♂, 15. VIII. 1950; 1♂, 1. VIII. 1954; 1♂, 15. VIII. 1958.

シオヤトンボ *Orthetrum japonicum japonicum* (Uhler)

1♂, 21. IV. 1942; 1♂1♀, 25. IV. 1942.

とくに谷戸の水田に多かった種だが、市内の現存産地は黒川・早野・生田緑地など数ヶ所に過ぎない。

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania* (Selys)

1♂, 11. VII. 1943; 1♀, 25. VI. 1955, 西生田; 1♂, 17. VII. 1960, 西生田.

ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia mariannae* Kiauta

2♂, 12. VIII. 1933.

ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum elatum* (Selys)

1♂, VIII. 1939.

県西部ではやや普通に見られるが、東部での記録は少なく市内では黒川などからの記録があるのみである。

ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys)

1♂, 8. X. 1939; 1♀, 15. VIII. 1957; 1♂, 15. VIII. 1958.

(夏は雑木林の中にいる。)

マユタテアカネ *Sympetrum eroticum eroticum* (Selys)

1♀, VIII. 1933; 1♂, 3. IX. 1955, 菅; 1♂3♀, 15. VIII. 1957; 1♀, 15. VIII. 1958.

ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius)

1♀, 15. VIII. 1941.

カメムシ目 HETEROPTERA (5)

コオイムシ科 Balostomatidae (1)

タガメ *Lethocerus deyrolli* (Vuillefroy) <図1>

3exs., 13. VIII. 1942; 1ex.(幼虫), 15. VIII. 1958.

(水田の用水堀の中に多く見られた。)

市内はもちろん、県内でもこの30年近く正式な記録がなく絶滅したものと考えられている。聞きこみ調査では各地に生息していた様子が伺えるが、標本はほとんど残されておらず、これらの標本は正確なデータを伴った非常に貴重なものである。

タイコウチ科 Nepidae (2)

ミズカマキリ *Ranatra chinensis* Mayer

1ex. (幼虫), 15. VIII. 1958.

タイコウチ *Laccotrephes grossus* (Fabricius)

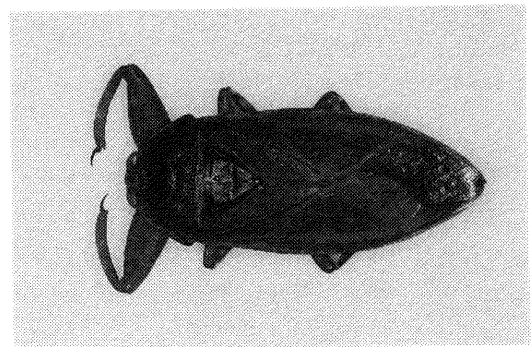


図1 タガメ

1ex., 19. II. 1939; 2exs.(幼虫), 15. VIII. 1958.

アメンボ科 Gerridae (1)

シマアメンボ *Metrocoris histrio* (B.White)

3exs., 15. VIII. 1958.

コバンムシ科 Naucoridae (1)

コバンムシ *Ilycoris exclamationis* Scott

3exs., 28. V. 1961, 東京都二子多摩川.

(砧池, 通称ワカモトの池。水草の多い池で, 目視で発見できた。)

県内での記録はなく, 現在では全国的にも激減している種である。都内の戦後の記録としても貴重なものであろう。

#### 甲虫目 COLEOPTERA (159)

オサムシ科 Carabidae (52)

(多くのゴミムシは農作業中に採集。)

クロカタビロオサムシ *Calosoma maximowiczi* (Morawitz)

4♂2♀, 12. VI. 1940.

県内の記録は少なく, 多摩丘陵の産地として貴重な記録である。

クロナガオサムシ *Carabus procerulus procerulus* (Chaudoir)

1ex., 5. VIII. 1929; 1ex., 10. VIII. 1933.

セアカオサムシ *Carabus tuberosus* (Dejean et Boisduval)

1ex., 13. IV. 1933; 1ex., 22. VII. 1933; 1ex., 5. VIII. 1933; 1ex., 23. VII. 1937; 1ex., 24. VIII. 1937; 1ex., 25. VIII. 1937; 1ex., VIII. 1937.

草地環境に生息する種で, 県内でも記録の少ない種である。これまで県東部からの報告はなかった。

ヒメマイマイカブリ *Carabus blaptoides oxuroides* (Schaum)

1ex., 10. VIII. 1931; 1ex., 3. IV. 1933; 1ex., IX. 1965; 1ex., I. 1969, 登戸.

フタモンマルクビゴミムシ *Nebria pulcherrima* Bates

1ex., 2. II. 1955, 和泉多摩川.

県内では極めて稀な種で, 平塚・酒匂川からの記録しかない。

カワチマルクビゴミムシ *Nebria lewisi* Bates

1ex., 2. II. 1955, 和泉多摩川.

キベリマルクビゴミムシ *Nebria livida angulata* Banninger

1ex., 2. II. 1955, 和泉多摩川.

ナガヒョウタンゴミムシ *Scarites terricola pacificus* Bates

1ex., 4. VIII. 1929; 1ex., 22. VIII. 1939; 1ex., 8. VI. 1941; 1ex., 14. VIII. 1970.

ホソヒョウタンゴミムシ *Scarites acutidens* Chaudoir

1ex., 4. VIII. 1933.

オサムシモドキ *Craspedonotus tibialis* Schaum

1ex., 1. X. 1939, 多摩川等々力; 1ex., 1. X. 1939, 多摩川下野毛.

減少著しい種である。砂地の河川敷に生息するため, 現在の多摩川では生息環境がほとんど消滅している。

ヒラタキイロチビゴミムシ *Trechus ephippiatus* Bates

1ex., 7. VIII. 1933.

メダカチビカワゴミムシ *Asaphidion semilucidum* (Motschulsky)

4exs., 1. IX. 1932.

カワチゴミムシ *Diplous caligatus* Bates

- 5exs., 16. IV. 1933, 多摩川稲田.
- ムラサキオオゴミムシ *Trigonognatha coreana* (Tschitscherine)  
1ex., 23. VII. 1933.
- オオゴミムシ *Lesticus magnus* (Motschulsky)  
1ex., 5. VIII. 1931; 1ex., 5. VIII. 1933.
- キンナガゴミムシ *Pterostichus planicollis* (Motschulsky)  
1ex., VIII. 1933.
- オオキンナガゴミムシ *Pterostichus samurai* (Lutshnik)  
1ex., 二子多摩川, 年月日不明 (アカガネアオゴミムシ採集の日のいずれか)  
県内では稀な種である。
- オオナガゴミムシ *Pterostichus fortis* Morawitz  
3exs., VIII. 1940.
- オオヒラタゴミムシ *Platynus magnus* (Bates)  
1ex., 15. IV. 1939, 津田山; 1ex., 16. IV. 1933, 稲田.
- コヒラタゴミムシ *Platynus protensus* (Morawitz)  
1ex., 25. VIII. 1931; 2exs., 2. III. 1933; 1ex., 2. III. 1934.
- セスジヒラタゴミムシ *Agonum daimio* (Bates)  
1ex., 19. VI. 1932, 和泉多摩川.
- ルリヒラタゴミムシ *Dicranoncus femoralis* Chaudoir  
1ex., 12. VI. 1932; 1ex., 24. VIII. 1933.
- セアカヒラタゴミムシ *Dolichus halensis halensis* (Schaller)  
1ex., 3. VIII. 1933; 1ex., 15. VIII. 1941; 1ex., 25. VIII. 1937; 1ex., 21. IX. 1932; 1ex., 23. VII. 1933
- オオクロツヤヒラタゴミムシ *Synuchus nitidus nitidus* (Motschulsky)  
1ex., 10. X. 1932.
- オオマルガタゴミムシ *Amara gigantea* (Motschulsky)  
1ex., 7. IX. 1937, 二子多摩川.
- オオゴモクムシ *Harpalus capito* Morawitz  
1ex., 10. X. 1932, 二子多摩川; 2exs., 1. X. 1939, 多摩川下野毛.
- クビアカツヤゴモクムシ *Trichotichnus longitarsis* Morawitz  
1ex., 20. VII. 1933.
- ムネアカマメゴモクムシ *Stenolophus propinquus* Morawitz  
1ex., 20. VIII. 1933.
- ヨツボシゴミムシ *Panagaeus japonicus* Chaudoir  
2exs., 5. VIII. 1933; 2ex., VIII. 1933.
- スジアオゴミムシ *Haplochlaenius costiger* (Chaudoir)  
1ex., 10. VIII. 1930; 1ex., VIII. 1933.
- ヒトツメアオゴミムシ *Chlaenius deliciolus* Bates  
1ex., 7. VIII. 1932; 1ex., 25. VIII. 1937; 1ex., 28. VIII. 1941.  
丘陵地の畑や荒地でみられた種であるが、農薬使用に伴い激減している。市内では滝沢(2000)によって過去の生田緑地での記録が発表されている。
- コキベリアオゴミムシ *Chlaenius circumdatus* Brulle  
1ex., 14. VI. 1933; 1ex., 4. VIII. 1933; 1ex., 8. VIII. 1939.
- アカガネアオゴミムシ *Chlaenius abstersus* Bates  
1ex., 19. VI. 1932, 二子多摩川; 1ex., 2. VII. 1933, 二子多摩川; 1ex., 1. X. 1939, 二子多摩川.
- アトワアオゴミムシ *Chlaenius virgulifer* Chaudoir  
1ex., 23. VII. 1932.

- アトボシアオゴミムシ *Chlaenius naeviger* Morawitz  
1ex., 26. VII. 1930.
- キボシアオゴミムシ *Chlaenius posticalis* Motschulsky  
1ex., 28. IX. 1941; 1ex., VIII. 1955.
- ヒメキベリアオゴミムシ *Chlaenius inops* Chaudoir  
1ex., 16. IV. 1938, 稲田多摩川 (京王鉄橋付近).
- ノグチアオゴミムシ *Lithochlaenius noguchii noguchii* (Bates)  
1ex., 二子多摩川, 年月日不明 (アカガネアオゴミムシ採集日の何れか)
- オオヒラタトックリゴミムシ *Oodes virens* Wiedemann  
1ex., VIII. 1933; 1ex., 20. VIII. 1939(採集地不明).  
県内ではこれまで川崎市登戸及び清川村からの 2 例しか記録のなかった種である。全国的にも近年の記録をほとんど聞かない。
- ヤマトトックリゴミムシ *Lachnocrepis japonica* Bates  
1ex., 20. III. 1933.
- コキノコゴミムシ *Coptodera japonica* Bates  
1ex., VIII. 1933.
- ハギキノコゴミムシ *Coptodera subapicalis* Putzeys  
1ex., 11. VII. 1933; 1ex., 26. VII. 1933; 1ex., 20. VIII. 1933.
- アオアトキリゴミムシ *Calleida onoha* Bates  
1ex., 6. II. 1932; 3exs., 5. I. 1933; 1ex., 2. VI. 1933; 1ex., 20. VIII. 1933; 1ex., 17. VIII. 1939; 1ex., 19. III. 1933, 溝口; 1ex., 19. III. 1955, 西生田 (松).
- メダカアトキリゴミムシ *Orionella lewisii* (Bates)  
2exs., 26. VII. 1933.
- ヤホシゴミムシ *Lebidia octoguttata* Morawitz  
3exs., 4. XII. 1932; 1ex., II. 1933; 1ex., 19. II. 1939.
- クロヘリアトキリゴミムシ *Parena nigrolineata nigrolineata* Habu  
1ex., 19. III. 1933, 溝口.
- アオヘリアトキリゴミムシ *Parena latecincta* (Bates)  
1ex., 3. VIII. 1930; 1ex., 27. IX. 1932.
- ヒトツメアトキリゴミムシ *Parena monostigma* (Bates)  
3exs., 27. IV. 1933; 1ex., 6. V. 1933; 1ex., 4. VI. 1933; 1ex., 12. VI. 1933; 1ex., 27. VI. 1937
- アトグロジュウジアトキリゴミムシ *Libia idea* Bates  
1ex., 9. V. 1939.
- ジュウジアトキリゴミムシ *Libia retrofasciata* Bates  
1ex., 27. IX. 1932; 2exs., 19. IV. 1933; 1ex., 12. VII. 1933; 1ex., 20. VIII. 1933; 1ex., 7. V. 1955. 西生田; 1ex., 22. VI. 1941.
- フタホシアトキリゴミムシ *Libia bifenestrata* Morawitz  
1ex., 24. IV. 1933; 1ex., 6. V. 1933; 1ex., VIII. 1933.
- キクピアトキリゴミムシ *Lachnolebia cribricollis* (Morawitz)  
1ex., 2. X. 1932; 1ex., 22. III. 1933; 1ex., 28. XI. 1937, 丸子; 1ex., 22. XI. 1931; 1ex., 11. III. 1933, 二子多摩川.
- フタホシスジバネゴミムシ *Planetes puncticeps* Andrewes  
1ex., 8. VIII. 1937; 1ex., 25. VIII. 1937; 1ex., 20. VIII. 1939.
- ミイデラゴミムシ *Pheropsophus jessoensis* Morawitz  
1ex., 12. VI. 1933.

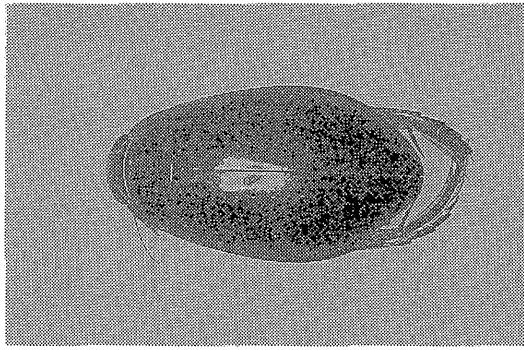


図2 ゲンゴロウ

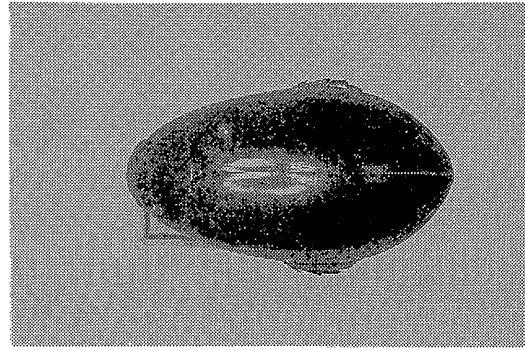


図3 コガタノゲンゴロウ

ゲンゴロウ科 Dytiscidae (9)

ゲンゴロウ *Cybister japonicus* (Sharp) 〈図2〉

1♂1♀, 4. VIII. 1933.

本種をはじめ、コガタノゲンゴロウ・クロゲンゴロウ・マルガタゲンゴロウなどの大型・中型のゲンゴロウ類はタガメ・ヤガムシなどとともに県内からはほぼ絶滅状態にある。いずれもかつては水田などに普通に産したらしいが、これらの種が市内に生息していた証拠として重要な標本である。本種も県内産の標本はほとんど残されていなかったものである。

コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus orientalis* Gschwendtner 〈図3〉

1♀, 12. VIII. 1932.

水田環境によく適応していた種だったようで、ゲンゴロウなどより早く1960年代には各地から絶滅した。市内からは多摩区向ヶ丘の記録がある。

クロゲンゴロウ *Cybister brevis* Aube

1♂ 1♀, 10. VIII. 1965.

モンキマメゲンゴロウ *Platambus pictipennis* (Sharp)

1ex., 15. VIII. 1958.

ヒメゲンゴロウ *Rhantus sturalis* (Macleay)

3exs., 12. VI. 1932; 9exs., 15. VIII. 1958.

ハイイロゲンゴロウ *Eretes sticticus* (Linnaeus)

1♂, 15. VIII. 1958.

シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringi* Clark

1ex., 15. VIII. 1958.

本種も現在絶滅危惧状態にある。

コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus* (Germar)

2exs., 12. VI. 1932; 7♂ 3♀, 15. VIII. 1958.

マルガタゲンゴロウ *Graphoderus adamsii* (Clark)

2♂, 12. VI. 1932; 1♂, 15. VIII. 1958

県内での記録は数例しかなかったものである。

ガムシ科 Hydrophilidae (3)

ガムシ *Hydrophilus acuminatus* Motschulsky

1ex., VIII. 1930; 1ex., 20. VIII. 1939.

本種も激減している種類であり、県内の現存生息地は数ヶ所しかない。市内の記録として非常に貴重なものである。

コガムシ *Hydrochara affinis* (Sharp)

1ex., VIII. 1956; 1ex., 14. VIII. 1959.

ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (Fabricius)

1ex., 15. VIII. 1958.

クワガタムシ科 Lucanidae (3)

ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky

2♀, VIII. 1965.

低地部では少ない種である。三浦半島や横浜子供の国周辺では現在も得られるが、産地が限定されている。

ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* (Motschulsky)

1♂, 19. VIII. 1933; 1♂, VIII. 1933; 1♂, 1. VIII. 1968; 1♂, 2. VII. 1955, 西生田.

コクワガタ *Dorcus rectus rectus* (Motschulsky)

1♂, 26. VII. 1932; 3♂5♀, VIII. 1933; 1♀, 25. IV. 1942; 1♀, 8. VIII. 1968; 1♂, 6. VI. 1980; 1♂, 1.VIII.1980.

コガネムシ科 Scarabaedae (2)

アカマダラセンチコガネ *Ochodaeus maculatus maculatus* Waterhouse

1ex., 20. V. 1932.

県内の記録はごく少ない。

コカブトムシ *Eophileurus chinensis chinensis* (Faldermann)

1ex., 22. VI. 1941.

生田緑地では少ないながら現在でも見られる。

ナガハナノミ科 Ptilodactylidae (1)

ヒゲナガハナノミ *Paralichas pectinatus* (Kiesenwetter)

1ex., 18. V. 1941.

コメツキムシ科 Elateridae (27)

オオサビコメツキ *Lacon (Alaotypus) maeklinii* (Candèze)

1ex., 16. VII. 1939.

森林性の種である。

サビキコリ *Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus* (Motschulsky)

1ex., 11. VI. 1933; 1ex., 2. X. 1938; 1ex., 10. VII. 1939; 1ex., 28. VIII. 1946.

ホソサビキコリ *Agrypnus (Agrypnus) fuliginosus* (Candèze)

1ex., 3. IX. 1933.

ヒメサビキコリ *Agrypnus (Colaulon) scrofa scrofa* (Candèze)

1ex., 5. II. 1932, 多摩川登戸; 1ex., 15. I. 1939, 津田山.

地表性の種。現在でも多摩川では比較的良く見ることができる。

ウバタマコメツキ *Cryptalaus berus* (Candèze)

1ex., VIII. 1933; 2exs., 23. VI. 1940; 1ex., 1. VIII. 1968; 1ex., 7. IX. 1968.

(赤松の立枯れの樹皮下でみられた。)

以前は、冬期に松類の樹皮を剥がすと普通に見られた種であるが、最近ではほとんどその姿を見ることができなくなった。

マダラチビコメツキ *Prodrasterius agnatus* (Candèze)

1ex., 15. I. 1939, 津田山.

畑などの荒れ地に見られる。川崎市では他に、麻生区からの記録がある(倉形, 1993)。

ヒゲコメツキ *Pectocera fortunei* Candèze

1♀, 12. VI. 1933; 2♂, 8. VI. 1941; 2♂, 7. V. 1955, 西生田.(叩き網で採った)

雄は触角が歯状になる大型のコメツキムシである。神奈川県内では平地～山地に広く見られるが、川崎市で採集される機会は少なくなってきている。最近の記録としては、1997年に採集された例がある(川田・岩田他, 1999)。

クロツヤハダコメツキ *Hemicrepidius (Pseudathous) secessus secessus* (Candèze)

1ex., 18. VI. 1933; 1ex., 27. VI. 1941.



ルリツヤハダコメツキ *Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcyaneus* (Motschulsky)

1ex., 23. VI. 1941.

関東地方では、一般に山地(湿潤な森林)に生息するものとして知られている種であるが、低標高の地域での記録も少ないが存在する。昔は山地や平地に関係なく、湿潤な森林が保たれていればどこにでも生息していたと推測される。都市化による林内の乾燥化や森林自体の減少は本種の生息域に大きな影響を与えことは確かだろう。結果として、本種の生息地は奪われ、現在では森林が比較的保たれている山地に辛ろうじて残されているのかも知れない。今回のこの記録は、本種が柿生地域に生息していたということだけでなく、1941年当時、本種が生息可能な森林がこの地域に残されていたことを示す貴重な資料とも言える。現在もなお本種が川崎市内に生息しているかどうかは不明であるが、調査をする上では今後注意が必要な種である。川崎市からはこれが最初の記録と思われる。

トラフコメツキ *Selatosomus onerosus* (Lewis)

1ex., 25. IV. 1933; 1ex., 7. V. 1955, 生田.

早春に出現するが、個体数はそれほど多いものではない。

アカヒゲヒラタコメツキ *Neopristilophus serrifer* (Candèze)

1ex., 27. VI. 1941.

ドウガネヒラタコメツキ *Corymbitodes gratus* (Lewis)

1ex., 24. IV. 1933.

山地の森林ではごく普通に見られる種であるが、平地での採集例は少ないと思われる。

コゲチャホソヒラタコメツキ *Corymbitodes obscuripes* (Lewis)

2exs., 23. IV. 1933.

前種に似るが、体は褐色を呈する。個体数は少ないようである。川崎市からはこれが最初の記録となる。

チャグロヒラタコメツキ *Calambus mundulus* (Lewis)

1ex., 19. III. 1933, 多摩川溝口; 1ex., 29. XII. 1939.

個体数は少ない。成虫で越冬することが知られており、上記の個体もデータから判断して越冬中だったと思われる。川崎市からの記録はこれが最初と思われる。

ヒメシモフリコメツキ *Actenicerus orientalis* (Candèze)

2exs., 23. IV. 1933; 2exs., 14. V. 1933.

アカハラクロコメツキ *Ampedus (Ampedus) hypogastricus hypogastricus* (Candèze)

1ex., 30. III. 1955, 西生田.

幼虫は松類の倒木で成長することが良く知られている。

キバネクチボソコメツキ *Glyphonyx bicolor* Candèze

1ex., 23. VIII. 1933.

キバネホソコメツキ *Dolerosomus gracilis* (Candèze)

1♀, 24. IV. 1933; 2♀, 27. IV. 1933; 1♂, 6. V. 1933.

春に出現する典型的な種。

ヒゲナガコメツキ *Mulsanteus junior* (Candèze)

1ex., 12. VI. 1933.

本種は長く、*Neotrichophorus junior* という学名で知られてきたものである。

ヒメオオナガコメツキ *Orthostethus kometsuki* (Kishii)

1ex., 24. VIII. 1937; 1ex., 29. VIII. 1940.

本種はオオナガコメツキ *O. sieboldi* (Candèze) に混じって採集される事が多いが、個体数はこちらの方が少ないようである。森林性の種で、川崎市からは生田緑地で採集された記録がある(川田・岩田他, 2000)。

アカアシオオクシコメツキ *Melanotus (Spheniscosomus) cete* Candèze

1ex., 8. VI. 1933; 2exs., 22. VI. 1941.

クシコメツキ *Melanotus (Melanotus) legatus legatus* Candèze

1♀, 23. VI. 1945.

ヒラタクロクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) correctus correctus* Candèze

1ex., 4. VIII. 1933.

チャバネクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) seniculus* Candèze  
4exs., 23. IV. 1933.

マルクビクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) fortnumi* Candèze  
1ex., 27. IV. 1933.

コハナコメツキ *Paracardiophorus pullatus pullatus* (Candèze)  
2exs., 20. V. 1933.

アカアシハナコメツキ *Displatynychus adjutor* (Candèze)  
2exs., 11. VI. 1933.

*Displatynychus* は、大平(1987)により本種を模式種として *Platynychus* 属の亜属として設立されたものであるが、最近の大平(1999)の研究により、属に昇格されたため、現在では上記のような学名の組合せとなった。川崎市からは、生田緑地の記録がある(川田・岩田他, 2000)。

#### ホタル科 Lampyridae (2)

カタモンミナミボタル *Drilaster axillaris* Kiesenwetter  
1ex., 22. VI. 1941.

ヘイケボタル *Luciola lateralis* Motschulsky  
4exs., 3. VIII. 1941.

黒川周辺などで、現在でも細々と生息しているが減少著しい。

#### ジョウカイモドキ科 Melyridae (1)

ツマキアオジョウカイモドキ *Malachius prolongatus* Motschulsky  
3exs., 27. IV. 1941.

#### ナガクチキムシ科 Melandryidae (2)

アオバナナガクチキ *Melandrya gloriosa* Lewis  
1ex., 12. V. 1940; 1ex., 18. V. 1940.

低地では少ない。

カツオガタナガクチキ *Synstrophus macrophthalmus* (Reitter)  
1ex., 3. VIII. 1941.

生田緑地で少ないながら見られる。

#### ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae (9)

オオクチキムシ *Allecula fuliginosa* Mäklin  
1ex., 22. VI. 1941.

現在でも松の樹皮下などに多い。

クロホシクチキムシ *Pseudocistela haagi* Harold  
1♂, 8. VI. 1941; 1♀, 18. VI. 1933.

珍しい種。現在では恐らく絶滅したと思われる。

ナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta* (Wiedemann)  
1ex., 22. VI. 1941.

現在でも多い。

ゴミムシダマシ *Naetus ventralis* (Marseul)  
2exs., 7. X. 1931.

立枯れ等で現在も得られる。野外での採集の他、養鶏場で見られる。

コメノゴミムシダマシ *Tenebrio obscurus* Fabricius  
2exs., 22. VI. 1941.

現在でも養鶏場があれば採集できるが、養鶏場自体が少なくなった。野外では見られない。

ニジゴミムシダマシ *Tetraphyllus lunuliger lunulige* (Marseul)

2exs., 22. VI. 1941.

コマルキマワリ *Elixota curva* (Marseul)

1ex., 5. I. 1933; 1ex., 7. I. 1933; 5exs., 19. II. 1955, 西生田. (松にて採集)

円海山では普通種だが、生田緑地、倉形(1993)には記録が無い。

ヒメキマワリ *Plesiophthalmus laevicollis* Harold

2exs., 22. VI. 1941.

生田緑地の記録はないが倉形(1993)には記録がある。多い種ではない。

キマワリ *Plesiophthalmu nigrocyaneus nigrocyaneus* Motschulsky

1ex., 22. VI. 1941.

現在でも自然のある程度残った場所では普通に見られる。

ツチハンミョウ科 Meloidae (2)

マメハンミョウ *Epicauta gorhami* Marseul

14exs., 28. IX. 1941.

(大豆畑に大発生。この日以外にマメハンミョウを見たことは無い。)

農薬の使用が普及してからはほとんど姿が見られなくなった種である。県内でも現在数ヶ所の生息地しか残っていない。

マルクビツチハンミョウ *Meloe corvinus* Marseul

1ex., 29. III. 1933.

以前は春先によく見られた種だが最近は見かけなくなった。

カミキリムシ科 Cerambycidae (42)

ホソカミキリ *Distenia gracilis gracilis* (Blessig)

1ex., 20. VIII. 1931.

生田緑地で少ないながら得られる。倉形(1993)では記録が多い。

ノコギリカミキリ *Prionus insularis* Motschulsky

1♀, VII. 1932; 1♂, VIII. 1933; 1♂, 2. VII. 1939; 2♂, 16. VII. 1939; 1♂, 5. VIII. 1944; 1♂, VIII. 1955; 1♀, 1.

VIII. 1965.

生田緑地で少ないながら得られているが、確実に減少している。

クロカミキリ *Spondylis buprestoides* Linnaeus

1ex., VIII. 1933; 1ex., 22. VI. 1941.

松が多い地域では多数見られるが、松林の減少で個体数が減ってきている。

ヤツボシハナカミキリ(ツマグロハナカミキリ) *Leptura mimica* Bates

1ex., 22. VI. 1941; 1ex., 25. V. 1960.

ヤツボシハナカミキリのツマグロ形ヤツボシハナカミキリと同種とするか、別種で扱うか意見が分かれるが、平野(1998)のリストに従った。渡(2000)によると円海山地域ではまだよく見られるようである。

ムネアカクロハナカミキリ *Leptura dimorpha* Bates

1ex., 12. VI. 1932; 1ex., 27. V. 1933.

低地での減少は特に顕著である。当地ではおそらく絶滅と思われる。

ヨツスジハナカミキリ *Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata* (Motschulsky)

1ex., 27. VI. 1937; 1♂1♀, 22. VI. 1941.

現在でも生田緑地、東高根森林公園などに少ないながら生息する。

ミヤマカミキリ *Massicus raddei* (Blessig)

1ex., 3. VII. 1929; 1ex., 3. VII. 1931; 1ex., VIII. 1932.

昔は多かったようだが最近はいない。

マルクビケマダラカミキリ *Trichoferus campestris* (Faldermann)

1ex., VII. 1967.

多摩川河川敷では見られるが少ない。昔は都内でも見られた。

ヨツボシカミキリ *Stenygrinum quadrinotatum* Bates

1ex., 12. VI. 1932.

昔はごく普通種であったようだが、近年は非常に少なくなっている。

ホタルカミキリ *Dere thoracica* White

1ex., 27. IV. 1933; 1ex., 3. VI. 1939.

低山地で昔はよく見られたが最近では少ない。倉形(1993)に記録あり。

ミドリカミキリ *Chloridolum (Leontium) viride* (Thomson)

1ex., 18. VI. 1933; 2exs., 22. VI. 1941.

低地での減少が顕著である。

ベニカミキリ *Purpuricenus (Sternopolistes) temminckii* (Guerin-Méneville)

2exs., 22. VI. 1941.

太い竹を食害する。また、クリなどの花に飛来する。

スギカミキリ *Semanotus japonicus* (Lacordaire)

1ex., 21. VI. 1941; 1ex., 19. IV. 1956.

倉形(1993)に記録はない。生田緑地でも記録はないが古い食跡は見られる。

ヒメスギカミキリ *Palaeocallidium (Callidiellum) rufipenne* (Motschulsky)

3exs., 26. III. 1930.

生田緑地での記録あり。

トラフカミキリ *Xylotrechus chinensis* (Chevrolat)

1ex., 4. VIII. 1929.

クワの生木を宿主としているのもっと見られてもよさそうだが最近は見かけない。倉形(1993)にも記録がない。

ブドウトラカミキリ *Xylotrechus pyrrhoderus pyrrhoderus* Bates

1ex., 30. VIII. 1933.

都市部での減少顕著。生田緑地周辺で少ないながら見られる。

キスジトラカミキリ *Cyrtoclytus caproides caproides* Bates

1ex., 2. VII. 1939; 1ex., 15. VIII. 1956; 1ex., VII. 1967; 1ex., VII. 1980.

山地ではよく見かけるが平地では少ない。倉形(1993)には記録がある。

エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (Chevrolat)

1ex., 12. VI. 1932; 1ex., 25. VI. 1933; 2exs., 25. VIII. 1933; 3exs., 22. VI. 1941.

タケトラカミキリ *Chlorophorus annularis* (Fabricius)

1ex., 25. VII. 1932; 3exs., VII. 1959.

時に街中でも見かけられるが、昔に比べ少ない。

キイロトラカミキリ *Grammographus notabilis notabilis* (Pascoe)

1ex., 18. VI. 1933; 2exs., 22. VI. 1941.

(ミドリカミキリと本種は燃料用の薪(前年以前に切る)より発生。)

最近はとて少なくなった。薪を使わなくなったためであろうか。

ホソトラカミキリ *Rhaphuma xenisca* (Bates)

1ex., 8. VI. 1933; 3exs., 18. VI. 1933; 2exs., 25. VI. 1933; 4exs., 22. VI. 1941.

低地での最近の記録は少ない。

カタシロゴマフカミキリ *Mesosa (Perimesosa) hirsuta hirsuta* Bates

1ex., 25. VII. 1932.

シナノクロフカミキリ *Asaperda agapanthina agapanthina* Breuning

1ex., 8. V. 1933; 1ex., 22. VI. 1941.

タテジマカミキリ *Aulaconotus pachypezoides* Thomson

1ex., 20. III. 1934; 1ex., 16. VII. 1939.

三浦半島ではよくみられる種だが、この近隣では少ない。

マルモンサビカミキリ *Pterolophia* (*Pterolophia*) *angusta* Bates

1ex., 12. VI. 1933; 1ex., 8. VII. 1933.

アトジロサビカミキリ *Pterolophia* (*Pterolophia*) *zonata* (Bates)

1ex., 23. VII. 1933; 1ex., 12. VI. 1932.

アトモンサビカミキリ *Pterolophia* (*Pterolophia*) *granulata* (Motschulsky)

1ex., 23. VII. 1931; 1ex., 12. VI. 1932; 1ex., 12. VIII. 1932; 1ex., 1. V. 1933; 1ex., 12. VI. 1933; 1ex., 25. VIII. 1937;  
1ex., 18. V. 1941; 2exs., 22. VI. 1941

トガリシロオビサビカミキリ *Pterolophia* (*Pterolophia*) *caudata caudata* (Bates)

1ex., 21. VII. 1931.

(クりにて採集) フジの枯枝に見られる。

ヒメヒゲナガカミキリ *Monochamus* (*Monochamus*) *subfasciatus subfasciatus* (Bates)

1ex., 1. VIII. 1931; 1ex., VIII. 1933; 1ex., IV. 1940; 2exs., 22. VI. 1941; 1ex., 9. VI. 1955

ゴマダラカミキリ *Anoplophora* (*Anoplophora*) *malasiaca malasiaca* (Thomson)

1ex., 27. VII. 1932.

センノカミキリ *Acalolepta luxuriosa luxuriosa* (Bates)

1ex., 17. VIII. 1939.

(タラノキの花に集まっていた。)

以前は生田緑地でもよく見られた。タラ・センの生木を食害する。低地ではあまり見られなくなった種である。

ビロウドカミキリ *Acalolepta fraudatrix fraudatrix* (Bates)

1ex., 3. VIII. 1931; 1ex., 27. VI. 1937.

現在でも少ないながら生田緑地で見られる。

ヤハズカミキリ *Uraecha bimaculata bimaculata* Thomson

1ex., 26. VIII. 1931.

生田緑地では現在もみられる。

クワカミキリ *Apriona japonica* Thomson

1ex., VIII. 1932.

クワの生木で見られる。

シロスジカミキリ *Batocera lineolata* Chevrolat

2exs., 15. VIII. 1941; 1ex., 10. I. 1964.

昔は雑木林によくみられたが非常に少なくなった。

シラオビゴマフケシカミキリ *Exocentrus guttulatus* Bates

1ex., 22. VII. 1937.

ヒゲナガモモブトカミキリ *Acanthocinus griseus orientalis* Ohbayashi

1ex., VIII. 1955.

別名スジマダラモモブトカミキリ。低地での減少顕著。松林減少のためと考えられる。

ルリカミキリ *Bacchisa fortunei japonica* (Gahan)

3exs., 4. VI. 1933; 1ex., 8. VI. 1933; 1ex., 11. VI. 1933.

ヒメリンゴ、カマツカなどを加害するが食樹があってもあまり見られなくなった。

ハンノキカミキリ *Cagosima sanguinolenta sanguinolenta* Thomson

3exs., 12. VI. 1932.

(ヤマハンノキで羽化したばかりのものを採集。)

ハンノキやヤシャブシ類に付く。生田緑地での記録はない。県東北部での記録は少ない。

シラホシカミキリ *Glenea* (*Glenea*) *relicta relicta* Pascoe

1ex., 11. VI. 1933; 1ex., 10. VII. 1933; 1ex., 23. VI. 1940; 1ex., 25. V. 1960.

生田緑地, 倉形(1993)ともに記録はない。

ヘリグロリンゴカミキリ *Nupserha marginella* (Bates)

1ex., VIII. 1933.

生田緑地, 倉形(1993)ともに記録がなく、絶滅した可能性がある。

ホソキリンゴカミキリ *Oberea infranigrescens* Breuning

1ex., 4. VI. 1933.

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae (1)

シロヒゲナガゾウムシ *Platystomus sellatus* (Roelofs)

1ex., 22. VI. 1941.

オトシブミ科 Attelabidae (1)

チャイロチョッキリ *Aderorhinus crioceroides* (Roelofs)

1ex., 22. VI. 1941.

ゾウムシ科 Curculionidae (1)

マツアナアキゾウムシ *Hylobitelus haroldi* (Faust)

1ex., 22. VI. 1941.

オサゾウムシ科 Dryophthoridae (1)

オオゾウムシ *Sipalinus gigas* (Fabricius)

1ex., 22. VI. 1941.

## チョウ目 LEPIDOPTERA (57)

アゲハチョウ科 Papilionidae (6)

ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous* (Klug)

1♂, 27. IV. 1933; 2♀, 15. VIII. 1939; 1♂, 30. IV. 1947; 1♂, 27. V. 1967.

キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* C. & R. Felder

1ex, 21. VI. 1937; 1ex, 1. VII. 1938; 1ex, 15. VII. 1939; 1ex, 25. IV. 1945; 2exs, 15. VIII. 1946; 1ex, 18. VI. 1955; 1ex, 15. VII. 1955; 2exs, 18. VI. 1955, 生田; 1ex, 25. VI. 1955, 西生田.

アゲハ *Papilio xuthus* (Linnaeus)

1ex, 30. IV. 1933; 1ex, 25. IV. 1936; 1ex, 24. VIII. 1937; 1ex, 11. VIII. 1941; 1ex, 10. VIII. 1945; 1ex, 15. VIII. 1946.

オナガアゲハ *Papilio macilentus* Janson

1♂, 2. VIII. 1995, 黒川.

(柿生では珍しい種。ノカンゾウの花を訪れ、ハナグモに捕まえられた個体。)

クロアゲハ *Papilio protenor* Cramer

1ex, 27. V. 1941; 1ex, 15. VIII. 1946; 1ex, 30. VII. 1947; 1ex, 28. VIII. 1947.

カラスアゲハ *Papilio bianor* (Cramer)

1ex, 24. IV. 1938; 1ex, 8. VII. 1941; 1ex, 18. VIII. 1941.

シロチョウ科 Pieridae (6)

キチョウ *Eurema hecabe hecabe* (Linnaeus)

1♀, 18. IV. 1933; 1♂, 1. VII. 1934; 1♂, 3. VIII. 1934; 1♀, VIII. 1934; 1♂, 20. VI. 1937; 1♂, 26. VI. 1937; 1♀, 21. VII. 1937; 2♂1♀, 17. VII. 1938; 1♂, 15. X. 1939; 1♂, 15. XI. 1939; 1♂, 28. VIII. 1946; 1♂1♀, 5. V. 1955; 1♂1♀, 15.

X. 1955; 2♂, 3. X. 1954, 登戸; 3♂1♀, 3. XI. 1954, 登戸; 1♂, 7. VII. 1956, 登戸; 3♂1♀, 13. VIII, 1955, 菅薬師; 3♂, 3. IX. 1955, 菅薬師; 1♂1♀, 18. VI. 1955, 西生田; 2♀, 2. VII. 1955, 西生田; 1♀, 13. VII. 1959, 西生田.

ツマグロキチョウ *Eurema laeta betheseba* (Janson)

1♂, 17. X. 1935; 1♂, 22. IV. 1937; 1♂, 15. IX. 1937; 1♂, 2. X. 1937; 1♂, 2. X. 1938; 1♂, 18. VI. 1955; 1♂, 18. VI. 1955, 西生田.

(秋型はよく見られた。)

県内では県中部の1ヶ所しか現存産地はない。過去にはそう珍しいチョウでなかったことがうかがえる。昨今は首都圏周辺ではほとんど見ることができなくなった。なにがこのチョウを追いやったのか正確な原因は謎である。

モンキチョウ *Colias erate poliographys* Motschulsky

1♂, 29. VI. 1937; 1♂, 5. V. 1937; 1♂, 21. VI. 1937; 1♂, 26. VI. 1937; 1♀, 1. IX. 1937; 1♀, 15. VII. 1939; 1♂, 1. IX. 1939; 1♂2♀, 5. V. 1955; 1♀, 18. VI. 1955, 西生田; 2♂, 7. VII. 1956, 登戸.

ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* (Butler)

2♂, 27. IV. 1933; 1♂, 14. IV. 1949; 1♂, 13. IV. 1969, 菅.

(あまり多くは見られなかった。)

むしろ近年は数を増やしてきているように思える。はびこって来ている帰化植物(セイヨウカラシナやオオアラセイトウなど)に幼虫の食性を広げたためではないかという考えがある。

モンシロチョウ *Artogeia rapae crucivora* (Boisduval)

1♀, 23. IV. 1933; 1♀, 30. VII. 1934; 1♀, 2. X. 1938; 1♀, 1. VI. 1939; 1♂, 3. VI. 1939; 1♂, 18. VI. 1939; 1♀, 13. IV. 1949; 1♀, 23. IV. 1950; 1♂2♀, 9. VII. 1955; 1♂, 23. IX. 1955; 3♂, 30. III. 1959; 1♂, 7. VII. 1956, 登戸; 1♂, 23. X. 1955, 西生田.

スジグロシロチョウ *Artogeia melete* (Menetries)

1♀, 23. IV. 1933; 1♂, 7. V. 1955, 生田; 1♀, 6. 18. 1955, 西生田; 1♂1♀, 2. VII. 1955, 西生田; 1♀, 17. VII. 1960, 西生田; 1♀, 9. VI. 1956, 菅薬師; 1♀, 13. IV. 1969, 菅.

(モンシロチョウに比べ数は少なく、雑木林が住み家だった。)

近年街中に多く見られるようになったのは、このチョウが人家によって出来た日陰を林縁に見立て適応したのではないかという見方がある。

シジミチョウ科 Lycaenidae (14)

ゴイシジミ *Taraka hamada hamada* (H. Druce)

2♀, 14. VIII. 1956; 1♀, 23. IX. 1956; 3♀, 18. VI. 1955, 生田.

ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* Niceville

1♂, 23. VII. 1937; 1♀, 10. X. 1937

(あまり多くはみられなかった。現在は多い。)

ムラサキシジミ *Narathura japonica japonica* (Murray)

1♀, 4. X. 1939; 1♀, 11. VII. 1942; 2♂, 2. IX. 1990; 1♀, 25. VI. 1955, 西生田.

近年になって勢力をのばして来たチョウのように思い込んでいたが、かなり古い時代から見られていたという貴重な記録である。

ウラゴマダラシジミ *Artopoetes pryeri* (Murray)

1♀, 11. VI. 1933.

(採集の時期がずれていたので、採集もれでもっといたものと思われる。)

ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia attilia* (Bremer)

2♀, 22. VI. 1937; 7♀, 26. VI. 1937; 2♀, 27. VI. 1937; 1♀, 3. VI. 1939; 4♀, 9. VII. 1955; 1♀, 18. VI. 1978; 2♀, 18. VI. 1956, 西生田; 6♀, 25. VI. 1955, 西生田; 4♀, 2. VII. 1955, 西生田.

アカシジミ *Japonica lutea lutea* (Hewitson)

1♂, 18. VI. 1937; 1♀, 19. VI. 1937; 1♀, 22. VI. 1937; 1♂1♀, 26. VI. 1937; 1♂, 28. VI. 1937; 2♀, 9. VI. 1968; 1♀, 26. VI. 1937, 西生田; 2♀, 25. VI. 1955, 西生田; 1♀, 9. VI. 1956, 菅薬師.

(ウラナミアカシジミとおなじ生態だったようだ。)

ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata* (Hewitson)

3♂, 11. VI. 1933; 1♀, 18. VI. 1937; 1♂, 19. VI. 1937; 1♂1♀, 22. VI. 1937; 3♂1♀, 26. VI. 1937; 1♂, 18. V. 1955, 西生田; 1♀, 25. VI. 1955, 西生田; 1♀, 9. VI. 1956, 菅薬師.

(6月下旬の夕方雑木林の梢を群れて飛ぶのをよくみた。)

このチョウに代表されるいわゆる平地産のゼフィルスは、豊かな雑木林で乱舞していたという。現在は極端に数をへらし、とくにウラナミアカシジミはめったに見られない幻のチョウになりかけている。

ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus* (Murray)

2♂, 27. VI. 1937; 1♂1♀, 18. VI. 1955, 西生田.

オオミドリシジミ *Favonius orientalis* (Murray)

1♀, 27. VI. 1937; 1♀, 25. VI. 1955; 1♀, 9. VI. 1956, 菅薬師.

コツバメ *Callophrys ferrea* (Butler)

1♂, 23. IV. 1933; 1♀, 27. IV. 1933; 1♀, 22. IV. 1937; 2♂, 9. IV. 1939; 1♂, 28. VI. 1939.

(4月に採っていたが、どこに生息していたかは不明。)

早春のチョウとして愛されて来たこのチョウは、この地にかなりしぶとく生き残って来たようだが、最近ほとんど見られなくなった。

ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* (Matsumura)

1♂, 20. III. 1937; 1♀, 10. V. 1937; 2♂, 18. VI. 1937; 1♂, 12. X. 1937; 1♂, 9. IV. 1939; 4♂6♀, 7. VII. 1956, 登戸; 6♂1♀, 25. VI. 1955, 西生田.

ウラナミシジミ *Lampides boetieus* Linnaeus

1♀, 26. X. 1946; 1♂1♀, 24. X. 1954; 1♂, 15. X. 1955; 1♂1♀, 19. X. 1955; 3♂, 1. X. 1956; 1♂1♀, 6. IX. 1969.

ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha* (Kollar)

1♀, 1. VI. 1933; 1♀, 3. VI. 1938; 1♀, 28. VIII. 1940; 1♂11♀, 28. VIII. 1946; 1♀, 5. V. 1955; 1♂, 月日不明. 1955; 2♂, 23. IX. 1956; 2♂1♀, 3. X. 1954, 登戸; 3♂, 7. VII. 1956, 登戸; 1♂, 18. VI. 1955, 生田; 1♂, 25. VI. 1955, 西生田.

ツバメシジミ *Everes argiades argiades* (Pallas)

1♀, 14. V. 1933; 1♀, 24. IV. 1938; 1♀, 26. IV. 1947; 1♂, 28. III. 1955; 9♂1♀, 5. V. 1955; 1♂, 23. IX. 1956; 1♀, 14. V. 1958; 2♂, 7. VII. 1956, 登戸; 7♂4♀, 18. VI. 1955, 生田; 1♂, 2. VII. 1955, 生田; 1♀, 25. VI. 1955, 西生田; 1♂2♀, 3. IX. 1955, 菅薬師; 1♂, 13. IV. 1969, 菅.

ルリシジミ *Celastrina argiolus ladinides* (de l'Orza)

1♀, 10. VII. 1939; 1♂, 15. VII. 1939; 1♂, 5. IV. 1947; 1♂, 19. III. 1955; 1♂, 5. V. 1955; 1♂, 12. VI. 1955; 1♀, 9. VII. 1955; 2♂, 30. III. 1959; 1♂1♀, 18. VI. 1955, 西生田; 2♀, 25. VI. 1955, 西生田; 1♀, 5. IV. 1947, 菅薬師; 1♀, 3. IX. 1955, 菅薬師; 1♀, 13. IV. 1969, 菅.

タテハチョウ科 Nymphalidae (14)

ウラギンスジヒョウモン *Argyronome laodice japonica* (Ménétrières)

1♀, 23. IX. 1934.

クモガタヒョウモン *Nephargynnis anadyomene ella* (Bremer)

1♂1♀, 4. VI. 1934; 1♀, 10. VI. 1934; 1♀, 21. VI. 1934; 1♂, 4. VI. 1939.

(ヒメジョオンの花などでよく見かけた。)

平野部で発生するヒョウモンチョウとして、確実に生息していたことがうかがえる。メスグロヒョウモンも生息していたようであるが、初夏この地で発生したこれらのヒョウモンチョウが山地に移動し、秋期に舞い戻ってきたのがよく観察される。

メスグロヒョウモン *Damora sagana liane* (Fruhstorfer)

1♀, 8. X. 1939; 1♀, 24. IX. 1947; 1♂1♀, 23. IX. 1956.

(メスは秋によく目についた。)

アサマイチモンジ *Limenitis glorifica* Fruhstorfer



1♀, 24. VI. 1969.

(あまり多くはないが、時々みられた。)

それほど多いチョウではなかったようであるが、確実に生息していたことがうかがえる。その姿を平野部で見るとは難しくなっているが、ツマグロキチョウとともにその原因は解かれていない。

イチモンジチョウ *Limennittis camilla japonica* Menetries

1♂, 9. VIII. 1955; 1♂, 2. VII. 1964.

コムスジ *Neptis sappho intermedia* W. B. Pryer

1♂, 26. IV. 1947; 1♂1♀, 5. V. 1955; 1♀, 15. VIII. 1955; 1♀, 13. VIII. 1955, 菅薬師.

ホシミスジ *Neptis pryeri pryeri* Butler

1ex, 12. VII. 1964.

現在は山梨県との県境の尾根筋にのみしか見られなくなっているが、かつては平野部にも生息していたという貴重な証拠である。

キタテハ *Polygonia caureum* (Linnaeus)

1♂, 24. VII. 1939; 1♂, 24. X. 1939; 1♀, 3. IX. 1955, 菅; 1♂1♀, 7. VII. 1956, 登戸.

ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas japonica* (Stichel)

2♂1♀, 26. III. 1932; 3♀, 18. VI. 1932.

(越冬個体はよく目についた。エノキ(屋敷林)に大発生したのを一度だけ見た。)

越冬個体が春平野部で産卵し、初夏の頃羽化するというこのチョウの姿が普通に観察されている。昨今はあまり見かけなくなった。

アカタテハ *Vanessa indica indica* (Herbst)

1♂, 22. VIII. 1939; 1♀, 23. X. 1955, 西生田.

ルリタテハ *Kaniska canace* (Linnaeus)

1♂, 27. IV. 1934; 1♀, 15. VII. 1939; 1♂, 19. VII. 1939; 2♂, 5. V. 1955; 1♂1♀, 18. VI. 1955; 1♀, 3. IX. 1955, 菅薬師.

スミナガシ *Dichorragia nesimachus* (Doyere)

1♀, 4. VII. 1984, (15羽化).

豊かな雑木林に生まれ、点在していたアブキで確実に発生を繰り返していたことがうかがえる。雑木林の減少の影響はオオムラサキほどではないとしても、やはり住み難くなってきていることは間違いなく、都市圏ではほとんどその優美な姿を見ることが出来なくなっている。

ゴマダラチョウ *Hestina persimilis japonica* (C. & R. Felder)

1♀, 20. V. 1945; 1♀, 16. VIII. 1954; 1♂, 18. V. 1956; 1♀, 25. V. 1958; 2♂, 3. VI. 1968; 2exs, 21. V. 1966; 1♂, 20. V. 1978; 1♂, 1. VI. 1971.

(後種とも、屋敷林のエノキの根際で越冬幼虫がよく見られた。)

オオムラサキ *Sasakia charonda charonda* (Hewitson)

1♀, 10. VIII. 1933; 1♀, 1. VIII. 1935; 1♂, 20. VII. 1937; 1♂, 17. VII. 1939; 1♂, 27. VI. 1956; 1♂, 30. VI. 1958; 1♂, 8. VI. 1961; 1♀, 18. VI. 1961; 1♂, 25. VI. 1955, 西生田.

(屋敷林のエノキの梢を飛ぶのを見ていた。)

現在市内では現存しないものと考えられる。武蔵野の雑木林の象徴であった、このチョウの力強く華麗な舞を楽しむことが難しくなったのは、やはり雑木林の極端な減少と、残された雑木林に人手が加わらなくなって活力を失って来たことによる。人の生活の快適さ、便利さと引換えに失った生きものの代表である。

ジャノメチョウ科 Satyrides (7)

ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus argus* Butler

1♂, 9. VIII. 1939; 3♂, 22. VIII. 1939; 1♂, 7. V. 1955, 生田; 1♀, 18. VI. 1955, 西生田; 1♀, 2. VII. 1955, 西生田; 1♂, 13. VIII. 1955, 菅薬師; 1♂1♀, 3. IX. 1955, 菅薬師.

ジャノメチョウ *Minois dryas bipunctata* (Motschulsky)

1♀, 30. VII. 1934; 1♀, 1. VIII. 1934; 1♀, 30. VIII. 1934; 1♂, 15. VII. 1939; 1♀, 28. VIII. 1946; 1♂, 9. VII. 1955.

豊かに草地があったことがうかがえる。草地が狭められ、残っている草地も荒れて帰化植物の天下となって来て、数を減らしている。

ヒカゲチョウ *Lethe sicelis* (Hewitson)

1♂, 13. VIII. 1955; 1♀, 23. IX. 1956; 1♂, 18. VI. 1955, 西生田; 1♂, 3. IX. 1955. 菅薬師.

クロヒカゲ *Lethe diana* (Butler)

1♂, 9. VII. 1955.

(あまり多くなかった。)

サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* (Ménétrières)

2♂, 12. V. 1933; 1♂, 5. VIII. 1939; 1♂, 22. VIII. 1939; 1♂, 28. VIII. 1946; 1♂, 5. V. 1955; 1♂, 14. VIII. 1956; 1♂, 7. V. 1955, 生田; 2♂, 13. VIII. 1955, 菅薬師.

ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstorfer

2♂4♀, 22. VIII. 1939; 1♀, 28. VIII. 1946; 2♀, 13. VIII. 1955, 菅薬師; 1♂, 3. IX. 1955. 菅薬師.

コジャノメ *Mycalesis francisca perdiccas* Hewitson

1♂, 22. VIII. 1939; 2♂, 5. V. 1955.

セセリチョウ科 Hesperidae (9)

アオバセセリ *Choaspes benjaminii japonica* (Murray)

1♀, 16. II. 1960(幼虫採集日 27. IX. 1959); 1♀, 15. VII. 1969; 1♀, 17. VIII. 1969.

飛翔力の強いこのチョウは、残されたアワブキを拠点にしぶとく生き延びているようであるが、その数は極めて少なくなっている。

ダイミョウセセリ *Daimio tethys tethys* (Ménétrières)

3♀, 7. VIII. 1955; 1♂1♀, 7. V. 1955, 生田; 1♀, 25. VI. 1955, 西生田; 1♂, 9. VI. 1956, 菅薬師; 1♀, 7. VII. 1956, 登戸.

ミヤマセセリ *Erynnis montanus montanus* (Bremer)

3♀, 5. V. 1955.

(早春、雑木林で見られた。)

コツバメとともに早春の雑木林散策でよく見られた種である。

ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* (Bremer et Grey)

2ex, 7. V. 1957(越冬幼虫採集日 1. I. 1957); 17ex, 7. VII. 1956, 登戸.

(疎らに生えたススキの枯れ葉の中に越冬幼虫がいた。)

荒れた草地でも生息可能なこのチョウであるが、昨今のように河川敷に大々的に人手が加わることにより、数を大巾に減らした。かつて多く見られていた登戸付近も昔の面影を失っている。

コチャバネセセリ *Thoressa varia* (Murray)

1♀, 3. VI. 1939; 1♂, IX. 1960; 1♂, 2. VII. 1955, 西生田.

キマダラセセリ *Potanthus flavus flavus* (Murray)

1♂, 24. VIII. 1943, 菅; 1♂, 18. VI. 1955, 西生田; 2♂, 3. IX. 1955, 菅薬師.

ホソバセセリ *Isoteinon lamprospilus lamprospilus* C.& R.Felder

2♀, 9. VII. 1955; 1♀, 17. VII. 1960, 西生田.

林縁のチョウとして案外生命力があり、近年まで生き延びて来ていたが、草地の減少と林が暗くなって来たことから、どんどん数を減らしている。

オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida pellucida* (Murray)

1♂, 15. X. 1955; 2♀, 25. VI. 1955, 西生田; 2♀, 7. VII. 1956, 登戸.

どこにでもいる普通なチョウであったが最近ではめったに見られない。この現象はこの地ばかりでなく、神奈川県全域にわたる。原因は温暖化のせいとも云われているが、よく判っていない。南方系のチョウが次々と飛来していることを考えると、北方系と云われるこのチョウの北上後退があっても不思議はない。

イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata* (Bremer & Grey)

2♂, 28. VIII. 1946; 1♂1♀, 15. X. 1955; 1♂, 13. VIII. 1955, 菅薬師; 1♀, 3. IX. 1955. 菅薬師.

(春は見えていない。)

#### 参考文献

- 原聖樹・美ノ谷憲久・中村進一・岡部洋一(1995) チョウ類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書: 176-186. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 林長閑・小林正人(1991). 川崎市のトンボ類・チョウ類. 川崎市自然環境調査報告II: 95-116. 川崎市教育委員会.
- 平野幸彦(1998). 神奈川県産甲虫類目録. 神奈川虫報特別号, (2): 35-124.
- 平野幸彦・荻部治紀・高桑正敏・田尾美野留(1995). 甲虫類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書: 212-254. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 岩瀬和夫・大坪浩・久保浩一・志村宝・渡弘(2000). 円海山地域の昆虫. 神奈川虫報, (130):1-458.
- 荻部治紀・岩田芳美・高橋小百合・昆虫班(トンボグループ)(2000). 川崎市内のトンボ類—おもに1999年の調査から—.  
川崎市青少年科学館紀要, (11): 24-28.
- 荻部治紀・岸一弘・大森武昭(1995). トンボ類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書: 187-198. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 川田一之・岩田芳美・高橋早百合(2000). 生田緑地の甲虫追加目録. 川崎市青少年科学館紀要, (11): 42-44.
- 川田一之・岩田芳美・高橋小百合・昆虫班(1999). 生田緑地の甲虫. 川崎市青少年科学館紀要, (10): 21-34.
- 岸一弘(1994) 倉形和男氏が川崎市麻生区, 横浜市緑区などで採集した蝶類, トンボ類, ツノトンボ類. 神奈川虫報, (107): 25-29.
- 河野浩道(1999). 生田緑地周辺で採集された市内未記録のトンボについて. 川崎市青少年科学館紀要, (10): 58.
- 倉形和夫(1993). 川崎市麻生区産甲虫類目録. 神奈川虫報, (103): 1-34.
- 丸山清(1971). 川崎市北部の甲虫. はんみょう, (3): 31-69.
- 松木和雄・新井裕(1967). 神奈川県東部のトンボ類. 神奈川虫報, (22): 18-22.
- 松木和雄・新井裕(1970). 県産のトンボ資料. 神奈川虫報, (33): 2-56.
- 中山周平(1998). 柿生 里山は今. 194 pp. 朝日新聞出版サービス.
- 根塚幹雄(1977). 川崎市多摩区黒川と柿生と最近8年間の蝶類の記録. 神奈川虫報, (51): 9-17.
- 西田孝治・岩田芳美・高橋小百合・昆虫班(1998). 生田緑地の昆虫(チョウ類・トンボ類). 川崎市青少年科学館紀要, (9): 41-42.
- 大平仁夫(1987). 九州に産するコメツキムシ科の珍種(24). 北九州の昆虫, 34: 91-92, pl. 7.
- 大平仁夫(1999). 日本産ヒメハナコメツキ属の種について. 比和科学博物館研究報告, (38): 349-356, pls. I-III.
- 佐々木彰・平子順一・岸一弘・荻部治紀(1989). 神奈川県産のトンボ相I. 神奈川虫報, (90): 67-86.
- 佐々木彰・平子順一・岸一弘・荻部治紀(1990a). 神奈川県産のトンボ相II. 神奈川虫報, (92): 3-40.
- 佐々木彰・平子順一・岸一弘・荻部治紀(1990b). 神奈川県産のトンボ相III. 神奈川虫報, (94): 1-38.
- 渋谷誠(1971). 川崎の蝶 71年における53種の記録. 相模蝶報, (13): 1-28.
- 渋谷誠(1972). 川崎の蝶-72 川崎北部のチョウ 1972年の記録. 相模蝶報, (15): 1-40.
- 高桑正敏・荻部治紀(1995). 水生半翅類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書: 208-211. 神奈川県立生命の星・地球博物館.
- 滝沢春雄(2000). 神奈川県におけるヒトツメアオゴミムシの記録. 神奈川虫報, (132): 67-68.